

ぶらり東京の旅

日本橋



日本橋は、東京都中央区
の日本橋川の
上に架かる橋
として慶長8
年（1603
年）、徳川家

康の開府により付近の町割りと同時に、堀の整備のために架けられました。將軍家の命によつて建築され、日本を代表する橋として日本橋と呼ばれるようになったとされています。

現在の日本橋は第20代目にあたり、明治44年（1911年）建造、国の重要文化財に指定されています。橋長は27間（約49m）、幅員は15間（約27m）のルネッサンス式の石橋です。関東大震災時にも被害がなかったこの橋は、その設計建築技術の高さに驚かされま

すが、さらに、橋の柱に書いてある「日本橋」の文字は徳川最後の將軍慶喜公の直筆です。
日本橋北詰東側は魚河岸と呼ばれ、関東大震災を機に築地に移転する前までここにありました。周辺の通りには多くの問屋が軒を連ね、歌川広重の浮世絵にもあるように大いに賑わい、現在の日本銀行本店の地（日本橋本石町）には金座が置かれていました。また、呉服問屋街としても江戸経済の中心的な役割

を担いました。日本を代表する三越デパートは伊勢松坂出身の三井八郎衛門高利がこの地で越後屋呉服店を開き、三越の名称は三井の「三」と越後屋「越」によつて屋号としたと言われています。南詰めには日本橋で呉服商からスタートし、後に百貨店として多くの人々に親しまれてきた「白木屋」がありました。その歴史は三越の創業をさかのぼり、寛文2年（1662年）、初代大村彦太郎可全が日本橋2丁目に小間物屋を開いたのが始まりとされています。現在はその後身である東急百貨店ビルもなくなり、日本橋コレドという複合商業ビルになっています。

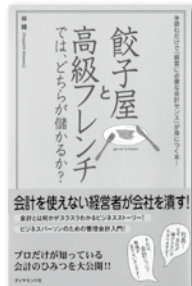
日本橋周辺にはこうしたデパートの他に江戸時代から続く多くの老舗があります。初代嘉兵衛が元禄3年（1690年）に江戸に出店し、茶・紙類を商い現在も続く山本山もその一つです。小網町、室町、小舟町、本石町、人形町、蛸殻町、茅場町、兜町など江戸を偲ぶたくさん町の町名が今も周辺に残っています。

（記・井上象英）



餃子屋と高級フレンチでは、どちらが儲かるか？

著：林 總
刊：ダイヤモンド社
四六版 232ページ 1575円（税込）



会計センスが身につく本。主人公「由紀」が父親の突然の死により、父親の会社を受け継ぐことに…。ストーリー仕立ての展開で、ずっと頭の中に会計の言葉が入ってきます。会計の仕組みも図解でわかりやすく、今まで苦手だった「会計とは」のおもしろさを知るヒントが散りばめられた一冊。

世界の日本人ジョーク集

著：早坂 隆
刊：中央公論新社
新書版 238ページ 798円（税込）



世界から注目されてきた経済大国・日本を世界各地で語られ、笑いを誘ったジョークをこの本に凝縮。海外からみる日本の姿を改めて実感できます。ちょっと心と体を「お休みモード」にすると、傍らにおいてこの本を読んでみませんか。読んでいるうちに、ぷつと噴き出してしまいそうです。

ブック・レビュー

話題の本を紹介

東商女性会 ビジネスフェスタ

～とく得プラザ“夢の祭・展”～

来場者募集!!

3月26日(月)16:00~19:00(予定) 東京商工会議所国際会議場

女性会初の試みとして、ビジネスフェスタを開催致します。女性会会員だけでなく、東商会員にも自社PRをするビッグチャンスです。「開運&10歳若返るエイジレスメイク」講演も同時開催いたします。皆様、ぜひおいでください。詳細は事務局まで。

◆メディアに登場◆

千葉千枝子●NHKラジオ第一「ラジオほっとタイム」(毎週月曜日)ロングステイのミニコーナーを通常で担当、出演中。
 武藤正子●『日経新聞』(平成18年6月22日)光が丘内、親子で近居が増えているとコメント。
 久家道子●『JALショップ』(平成18年6月号から連続数ヶ月)プチポアン「いやしのポーチ」機内・機外誌に。(JALキャビンアテンダント推薦の「いいものすすめ隊」に出たポーチの案内)
 中村文子●「とらばーゆ No.32」(平成18年8月2日)「これが女の出世道」起業に至る道のりや仕事への思いを語る。
 『日経WOMAN』(平成19年1月号)「新サラリーウーマン幸せ研究所」後輩のやる気を出したい読者へのアドバイス。
 大野木真理●『フジサンケイビジネスマイ新聞』(平成18年10月4日)美眼は美顔、眼の美容院を設立。インタビュー。
 塚本夏代●TBSテレビ『お江戸粋いき!金継ぎ』(平成18年10月22日)伝統の茶道では陶磁器の欠け、割れを純金等で繕うことを紹介。
 今井美津恵●フジテレビ「こたえてちょーだい」(平成18年11月15日放映)定年退職後の男の自立は料理ができること。
 綾乃ひびき●『産経新聞』(平成18年11月20日〜24日)歌い手の視点から日本の子守唄を紹介。

※数多くの会員の方より「メディアに登場」掲載希望の申し込みをいただき、ありがとうございました。掲載スペースの都合上、前号までに掲載されていない会員の方を優先いたしました。掲載を申し込みの会員全員を掲載できなかったことを読面を通じてお詫び申し上げます。

藤沢 薫●NHKニュース(平成18年11月20日放映)新宿歌舞伎町区役所通りのイルミネーション実行委員長として取り上げられた。『読売新聞』(平成18年11月18日)『朝日新聞』『東京新聞』『スポーツニッポン』『毎日新聞』『産経新聞』他(平成18年11月21日)
 脇田直枝●『財界』(新年特別号および平成18年11月30日号)高齢女性経営者の取材紹介。
 石井幸子●『全国賃貸住宅新聞』(平成18年12月18日)東京ビックサイトで開催された賃貸経営セミナーでは、特に人気の高い主宰するお茶の水税経になると座席、レジユメの獲得が激化。
 木村蓉子●『週刊ビル経営』(平成19年1月1日)「ビルリノベーション最前線」屋上緑化編、テナントサービスと環境を考えた経営方針として紹介。
 加藤六代●『テレビ埼玉』(平成19年1月9日)『テレビ千葉』(平成19年1月10日)『テレビ神奈川』(平成19年1月12日)「ダンスは一番」桂由美先生との協同企画について。
 木原啓子●『PHPカラット』(平成19年2月号)人と地球の未来の為に健康と地球環境の改善。
 荒川旬美●日本テレビ放送網(平成19年2月17日放映)「1日で体質改善!?!花粉症おさらばツアー」「カウンスリング腸もみマッサージ」

ゴルフ同好会



昨年は第8回(グレンオークスC)、第9回(蓼科フォーラムに1泊のゴルフ)、第10回(セブンハンドレッドCC)と、また、10月には小金井CCで山口会頭を囲むゴルフ、と同好会、ゴルフも楽しい1年を過ごしました。
 さて、平成19年は2月に南房総で新年会ゴルフコンペからスタートし、第11回は5月、つづいて7月には恒例になりました蓼科フォーラムに宿泊のゴルフ、第13回は9月に予定しております。同好会の人数も57名と増え、今年も皆で楽しい会に育てていきたいと思えます。
 (記・保田和江)

訃報

谷口 晴子 様
 (有限会社アルス社代表取締役)が
 平成18年8月24日に逝去されました。
 (享年68歳)。

東商女性会の今後の主な行事予定

(平成19年3月1日〜9月30日)

- 3月5日(月) 第2回 新会員とのランチミーティング
- 3月12日(月) 東商女性会・関商女性連 共催フォーラム「安倍洋子氏、阿川佐和子氏 スペシャル対談」
- 3月26日(月) 東商女性会 ビジネスフェスタ
- 4月18日(水) とく得プラザ 夢の祭・展
- 4月18日(水) 東商園遊会
- 5月17日(木) 関商女性連 総会(群馬大会)
- 6月5日(火) 第3回 新会員とのランチミーティング
- 6月6日(水) 東商女性会 会員総会
- 8月29日(水) 東商女性会 サマーセミナー

編集後記

平成18年4月第10号より10ヶ月、「東商LADY」第11号を発刊する運びとなりました。通常4月・10月の年2回発刊していましたが、年度末に編集作業が重なる等の負担を軽減するため、2月末、8月末に変更させて頂く事となりました。会員の皆様方にはたいへんお待ち致しました事をお詫び申し上げます。
 今回のテーマは「少子化」。表紙は親子の絆をテーマにした画像を選びました。原稿・編集まで全て部員の手で制作しております。皆様方に、より一層分かり易い、役に立つ情報をお送りするべく、努力を重ねる所存でございます。今後とも何卒よろしくご協力の程、御願い申し上げます。

情報・広報部リーダー 石野康子



東商女性会
組織基盤強化活動「パワーアップ 2005-07」
会員募集 目標600会員を目指して

交流の拡大、発言力の強化、事業の充実のために、
お知り合いの女性経営者で当女性会に未加入の方がいらっしゃいましたら、
是非一声お掛け下さいますようお願い申し上げます。

東商LADY

2007年2月28日 第11号

発行所
東京商工会議所会員情報部会員交流センター

発行人
東京商工会議所女性会
会長 齋藤朝子

編集人
東京商工会議所女性会
情報・広報部

表紙写真: (c)ORION PRESS / amanaimages